

広報たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111【代表】

人口

— 7月31日現在 —

9,141人 男 4,456人 女 4,685人
世帯数 2,592
転入 31 出生 9
転出 30 死亡 5

華やかな造り物競演

夏の名物行事「高森町風鈴祭」は、八月十七・十八日の二日間とも好天に恵まれ、仮装行列や手踊りなど多彩な催しが繰り出され、近郷から集った人や帰省客など大勢の人出でにぎわいました。
ことしの造り物は、昨年より一つ増えて二十三基が町の随所に勢ぞろい。うちわやスリッパを使い「イヌワシ」、剣道具を巧みに利用した「伊勢エビ」、皿を集めて工夫した「タツノオトシゴ」など伝統のすばらしい見立て細工に見物人は観声を上げていました。



第289号
昭和58年

9月

おもな内容

- ☆ みんなで防ごう少年非行.....(2)
- ☆ 21日から秋の交通安全旬間.....(3)
- ☆ 私たちの町役場（職員の事務分掌）.....(4)~(5)
- ☆ スポーツ振興功労者を表彰.....(6)
- ☆ 21世紀の農業を探る（シンポジウム）.....(7)
- ☆ お知らせのページ.....(8)~(9)

火事・救急車は ①119へ	10月2日	9月25日	9月23日	9月18日	9月15日	9月11日	9月4日
	富平	富小	富上	富後	富渡	富立	富寺
	②田	②林	⑤村	⑦藤	⑦辺	⑧野	②崎
	01医	00医	03医	00医	01医	01医	03医
	2院	7院	3院	1院	7院	1院	7院
	6院	5院	6院	9院	7院	1院	8院

休日
在宅医

診療は午前9時から午後5時まで

俳句

百日紅花が咲き居て散りもして
皆の目を集め夕顔開き初む
病室の限られし視野盆の月
湧水に冷えし西瓜の重さかな
湖に映る仕掛け花火の滝の華
靴の汚れに今日の務め終え
遠花火音にさそわれそこらまで
祭の輪抜けてはたりし足洗う
人惚ぶ花とし凌雪咲きつづく
打ち損じ蚊は明暗の間とぶ
蚊遣火や寝顔よく似し兄おと
夕立やししばし根子岳雲がくれ
うら盆に祖先を偲び石碑見る
梅雨晴間青き雨傘忘れあり
猛暑来牛も背中で息をつき
蜘蛛の罠の高低にあり納屋の軒
牛達の呼吸も荒らし土用丑
うたた寝の本の頁をめくる風
番犬も舌出し喘ぐ極暑かな
半丁を夫婦で分かちつ冷奴

肥後狂句

熊谷こう女
内田 文子
弥永 藤子
桐原 寿
林 久恵
柴田ふい子
古庄 泰子
平田るり子
山村えみ子
岩下 扶美
白石 政憲
後藤 固
後藤 やよい
森 正六
本田 訓子
森 政隆
阿部タツエ
後藤 浩竜
後藤 春嵐
馬原 馬笑
林 不忘

(こ) (寄) (付)

尻から一番、運動場の広過ぎる
でも、看板はビジネスホテル
そねばって、ムッソリニーの如しとる
峠、女工が涙する野麦
たったこしこ、うちの社長の肝太さ
そねばって、錦飾った隆の里
校旗もかすむ甲子園
たったこしこ、請け冠つとる村芝居
シジミ貝にも過疎の村
そねばって、ネズミは獲らん猫だった
峠、押し加勢した木炭車
尻から一番、予想屋ちゅうは良エ加減
でも、示談金にもある相場
そねばって、落選させて呉れだらう
たったこしこ、談合金の折り合わん
たったこしこ、複式クラス作らなん
病院食ア早寝用
終列車、車掌もあくび噛み殺し
そねばって、秘書が代議士ばしの如つ

おめでたおくやみ

S58. 7.15~8.15 受付

出生	(住所)	(保護者)	(出生児)(性別)	(出生年月日)
昭和	旭通	安藤 秀一	茜 女	S58. 7. 9
旭通	中園	本田 貞雄	誠 男	7.13
旭通	中園	住吉 正範	功 成 男	7.15

死亡

(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
横町	谷村 房一	妻	谷村 イズ	60	58. 7. 27
上在	高田スイ子	母	栗屋 セツ	94	8.14
小倉原	村上 万	母	村上シマエ	83	8.15
菅山	田代 武泰	母	田代ウメエ	72	8.1
津留2	瀬井 弘子	母	瀬井ツル子	64	8.11
尾下1	濱原 勝	2男	濱原 勝明	29	7.26

編集を終わって

真夏のビッグイベント・風鈴祭
が終ったばかりと思っていたら、
早いもので涼風立ち込める九月に
なつてしまいました。実の秋へ向
つて農家の皆様も忙しい日々をお
過しのことでしょう。
さて、本紙で紹介しましたよう
に、八月十日付けで町職員の異動
があり、広報担当も総務課から企
画課へと移りました。
また、紙面の充実、後継者育成
というねらいから元管財課の後藤
秀希が、新しい担当者として編集
に携わることになりました。今ま
で同様、皆様の暖かいご支援、ご
指導をよろしくお願い致します。

少年非行

盛り上げる町ぐるみの運動

最近、青少年の非行や校内暴力、家庭内暴力などの増加が、大きな社会問題となっています。これらの背景として、私たちを取り巻く社会環境がますます複雑になり、青少年の生活や意識にさまざまな影響を与えてきたことを挙げる事ができるでしょう。こうした社会環境の中で、家庭での養育や教育はどうあるべきでしょうか。

全国的な例にもれず、最近町内でも少年の非行化問題が大きくクローズアップされています。私たちは、これをただ環境のせいになすりつけるだけでなく、町ぐるみで暖かく補導して行く必要がある

ようです。感じやすい年齢——といえ、中学生から高校生にかけての年代。中学生の体格も、戦前にくらべて著しい成長を遂げるにつれ、

非行は家庭に七〇〇八〇％の原因があるようだ。愛情とか面倒をみるとかの欠陥があり、そのためにはとくに母親の教育が必要となる。友人関係や持ち物など心すべきである。子供のやりたい放題に甘やかすすぎるのはよくない。正義観を小さいときから家庭教育で植えつけてほしい。親が酒や夫婦げんかで家庭をかえりみないことや、むき出しの性生活など注意しなければならぬ。

これらの声が契機となって、いま町ぐるみ「少年を非行から守る運動」の音が盛り上がりつつあります。さきに青少年育成事業の一環として開催された、演劇「泥かぶら」の公演も、町内諸団体ならびに皆さんの熱意の結集によって実現したもので、きわめて意義深いものがありました。

みんなの手で暖かく……

町教育委員会でも、子供会やPTA連絡協議会に力をつくすという、家庭教育学級開設などの手助けも行っています。

ともあれ、町の将来を背負って立つ少年たちを町ぐるみの協力で正しく伸ばすことが、私たちの課題といえるのではないでしょう

みんなで防ごう



う、消費の拡大や、マスコミの影響などもあって、これら多感な少年たちの不良化や非行化が、いま全国的な話題ともなっています。町内十三小中学校と一つの県立高校の中でも、若干これら生徒の乱行が目立ち、憂慮する人びとも少なくありません。

若者の親ばく図ろう

青少年育成町民
会議支部支部

スポーツ大会開く

各種団体のスポーツ大会が花盛りですが、青少年育成町民会議支部（佐伯誠喜支部長）は、八月十六日、ソフトボールとバレーボールによるスポーツ大会を草部小学校グラウンドで開き、青少年の健全育成に努めました。

この大会は草部南北の中学生から二十五歳までの若者を対象に、毎年お盆明けに開かれているもので、こしが三回目。帰省した若者たちの飛び入り参加もあり、地域の親ばく融和に大きく役立っています。ことしは、それぞれの地区から選抜されたソフトボール五チームとバレーボール二チーム、

直接ひびく
家庭の教育

いろんな席上で少年非行化問題が話し合われる結果をまとめてみますと――

▼家庭での問題

お知らせのページ

南阿蘇国民休暇村で従業員募集

南阿蘇国民休暇村では次のとおり従業員を募集しています。

【男子】①営業係（職員）一名、十八歳から二十五歳②清掃・施設係（臨時）一名、五十五歳位まで

【女子】①売店、喫茶、営業（職員または臨時）若干名、十八歳から二十五歳まで②厨房係（臨時）一名、四十五歳位まで

給与は同協会給与規程によります。詳細は南阿蘇国民休暇村（☎②211）まで。

住宅改良資金の申し込み受付中

住宅金融公庫では、マイホームの改良資金の申し込みを来年二月二十九日まで引き続き受け付けております。間もなく台風シーズンです。増改築・修繕工事は今のうちになさることを勧めます。

●融資限度額 工事費の七割で三百五十万円まで

●金利 年六・五割

●返済期間 十年以内

●融資の対象 増築、改築、台所

浴室となる工事の修繕、畳、建具の取り替え、門扉の修繕の設置、補修

詳しいことは、お近くの公庫業務の取扱店、または住宅金融公庫熊本支所（☎〇九六三二四二二二）へ。

人工肛門・膀胱保有者の方々へ

互励会をご存知ですか。互励会は、術後の相談、療養体験、器具の使用などについての経験の交流や健康の回復、アフターケアの向上のため同業者、家族、医療関係者のみなさんと努力しています。また、障害年金の改正、身体障害者福祉法適用のための運動もしております。お近くの支部を紹介しますので左記へご連絡ください。

〒一〇五東京都港区新橋五一四一―二大幸ビル 互励会事務所（☎〇三三四三二一三五一四）

土地改良非補助資金のご利用を

農家の方が農業の土地基盤整備事業資金としてお気軽にご利用できるものに土地改良事業非補助資

終戦当時の引き揚げ者の方々へ

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。

◇終戦後、外地から引き揚げてこられた方が、上陸港の税関、海運局に預けられた通貨・証券等

◇外地の集結地において総領事館などに預けられた証券などのうち日本に送り返されたもの

24日は無料法律相談日

▼場所 町民センター
▼時間 午後一時から

返還の申し出は、ご本人ばかりでなく、ご家族の方でも結構です。お心当たりの方は、上陸港を所轄する税関または最寄りの税関へお問い合わせください。

職業訓練校で技能身につけよう

労働市場のきびしい雇用状況の中で、技能を身につけて生活の安定を図ろうとする人達のために、熊本総合高等職業訓練校では、五十八年度十月入校の生徒を次の要領で募集しています。

■職業転換訓練生（公共職業安定所の指示を受けた人） 電気機器科二十人、塗装科二十人

■応募方法 公共職業安定所へ申し込んでください。

■募集期間 八月一日から九月十四日まで

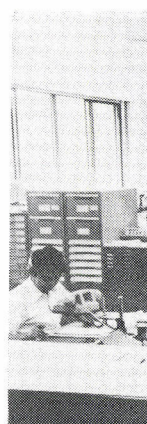
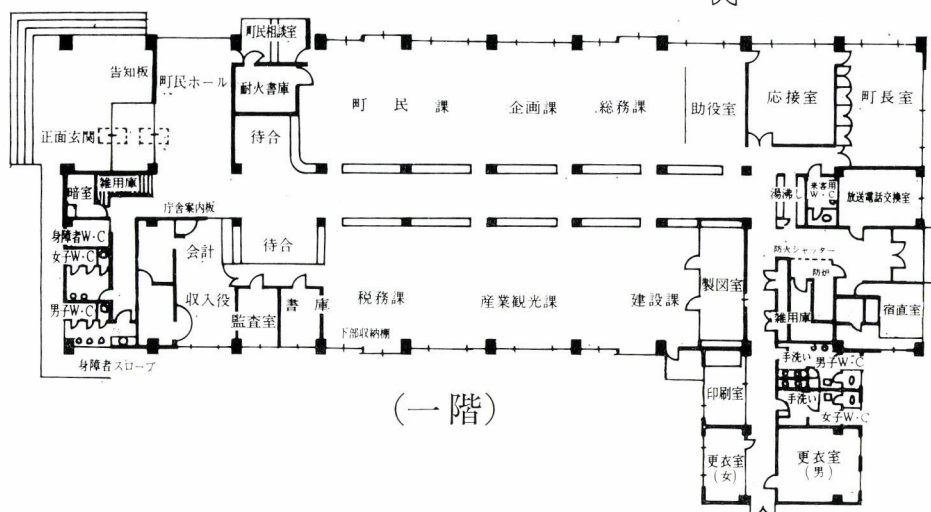
■特典 ①交通機関を利用して通学される方には学生割引が適用され、遠隔地の方のためには寄宿舎があります。②修了者には、各種の資格取得、受験資格が得られます。詳細については菊池郡西合志町須屋二五〇五一三熊本総合高等職業訓練校（☎②0391）へ

早く、そして正確に

9月9日は「救急の日」

9月9日～15日は「救急医療週間」





係 社会教育 長 中尾 篤志 — 秋山 清二 社会教育		係 庶務係長 甲斐 元紀 — 甲斐 敏文 学校教育 庶務		係 教育 委員會 長 後藤 恒夫		係 局長 有働 和幸 — 長尾 和博 議會・選挙・監査事務		係 野出張所 長 熊谷 征男 — 古沢 建生 戸籍・庶務 水道維持管理 住民基本台帳・庶務		係 草出張所 長 後藤 万蔵 — 阿南 哲也 戸籍・庶務 水道維持管理		係 水道係長 宮村 春幸 — 甲斐 峰雄 維持管理 水道庶務		係 建設係長 岩下 健治 — 上村 秀幸 土木災害 道路改良・舗装 土木造物の建築・営繕		係 建設課長 古庄 末幸		係 林係長 田上 真一 — 佐伯 実範 商工観光・自然保護 林務全般		係 農地係長 岩下 靖彦 — 中山 秋広 農地改良・農地災害 農業振興・農業者年金		係 産業係長 佐伯 秀和 — 広木 富八 地域改善・畜産・野菜・たばこ・養蚕 米・農業・畜産 米・農業資金		係 産業観光 課長 松本 彰夫		係 評価係長 芹口 誓彰 — 岩下 三治 土地建物評価課税 含		係 固定資産 課長 二子石範男 — 甲斐 哲郎 町税課税徴収		係 税務課長 赤星 昭生	
---	--	--	--	--------------------------------	--	---	--	---	--	---	--	--	--	--	--	----------------------------	--	--	--	---	--	---	--	-------------------------------	--	---	--	--	--	----------------------------	--

スポーツ振興に功労

郡体育協会が五人を表彰

阿蘇郡体育協会（山室忍会長）は、このほど阿蘇郡のスポーツ振興に功労のあった役員、選手など五人（本町関係）を表彰しました。表彰を受けられた方々は次のとおりです。

大谷 正開（五〇）



町体育協会が設立されて以来、役員として協会の運営に貢献。特にソフト

ボールの普及に力を入れ、競技規則の啓蒙、審判講習の開催などを積極的に行い、後継者の指導にあたられました。現在理事。

田代 広一（四五）



役員就任以来、協会の運営に尽されるところに、スポーツ技術の向上、振興に多大の貢献をされました。特にソフトボールの技術に努力され、町の体育指導員としても活躍されました。現在、理事。

中村 敏久（五〇）



三十四年体協設立以来、ソフトボールの指導者として技術の向上に努め、本町のスポーツ活

動に貢献されました。特に四十七年以降はソフトボールの普及とともに審判、選手の技術向上をめざすなど協会の発展に寄与されています。現在、評議員。

本田 力（四八）



四十五年体協陸上部長。四十八年には体協常任理事として活躍される一方、

同年から陸上競技選手として県民体育大会に連続十回出場。四十八年四百円リレー二位、四十九年四百円リレー三位はじめ、五十三年百円三位、五十四年百円三位、五十五年百円二位、五十六年百円二位、五十七年百円四位と、常に上位入賞をはたされました。また、本町における陸上競技の

普及・指導など体協の発展にも寄与されました。

岩下 時雄（五八）

四十三年に町教育委員会出向となり、社会教育を担当、当時まだ整備されていなかった体育協会の組織確立のため努力され、バトミ

これからも健やかに

敬老会 町内8カ所で開催

九月十五日は「敬老の日」。国民の祝日に関する法律によると、敬老の日は「多年にわたり社会につくしてきた人を敬愛し、長寿を祝う」とあります。

本町では、長年社会に貢献されてきたお年寄りたちを祝福するため、九月十二日から町内八カ所を巡回して敬老会を開催します。対象は数え年で七十五歳以上（明治四十二年十二月三十一日以前に生

まれた方）の皆さんです。当日は招待したお手寄り全員に、町から記念品としてテレビ枕が、また金婚夫婦には金杯がそれぞれ贈られます。

このほか、会場では一日を楽しく過していただくために、地元婦人会の接待と、歌や踊りなど盛りだくさんの催し物があります。お年寄りの皆さんはどうぞ楽しみにお待ちください。日程は表のとおり

敬老会日程表

期 日	時 間	地 区	場 所
9月12日	11:00	上色見	上色見小学校
9月13日	11:00	野尻南部	野尻林業センター
9月14日	10:00	河原	河原公民館
9月14日	11:30	草部北部	草部北部へき地集会所
9月15日	11:00	高森	南阿蘇国民休暇村
9月16日	11:00	草部南部	草部へき地集会所
9月17日	11:00	色見	色見小学校
9月18日	11:00	尾下	尾下小学校

今月の支払日

(月)金(月)
5日 16日 26日

町役場の支払日は、事務整理の都合上、勝手ながら五のつく日に定めています。ただし、当日が土・日・祭日にあたる場合は翌平日になります。支払時間は午前九時から午後三時まで。

りです。

なお、町内の七十五歳以上のお年寄りは五百九十五人です。

社会教育関係は

町民センターへ

高森町教育委員会は、中央公民館としての機能を高めるため、九月一日から町民センターに、社会教育関係の職員二名を常駐させることにしました。

町民センターは、青年団、婦人会、老人会など町民のだれもが利用できる社会福祉施設ですが、社会教育法に基づく公民館としての役割も兼ねています。

社会教育係の常駐によって、町民センターの申し込みは窓口で簡単に出来るようになりました。また、係ではみなさんのための生活に即した教育、学術、文化に関した各種事業の計画のお手伝いや助言も行っていますので、お気軽にお立ち寄りください。